

草潤中支援で 30万円を寄付

ぎふしん記念財団

公益財団法人ぎふしん記念財団(住田裕綱理事長)は、岐阜市金宝町の草潤中学校の学校職員や保護者でつくる「草潤中学校サポーターズ」に、「新たな学び応援資金」として30万円を寄付、同校で贈呈式が行われた。

寄付は3年連続。岐阜信用金庫の大野孝一地方創生部長が「生徒の夢や目標の支えになれば」とあいさつし、サポーターズの木村昌義会長と石樽千恵校長に目録を手渡した。木村会長は「子どもたちの興味につながる活動に生かしていき

い」と述べた。

同校ではイラストの描き方を指導するイラストレーターや、バイオリンの演奏を教える奏者など講師を招く授業の運営費などに充てる予定。
(玉田健太)



新たな学び応援資金の目録を手渡した大野孝一部長ら(右から2人目)ら＝岐阜市金宝町、草潤中学校